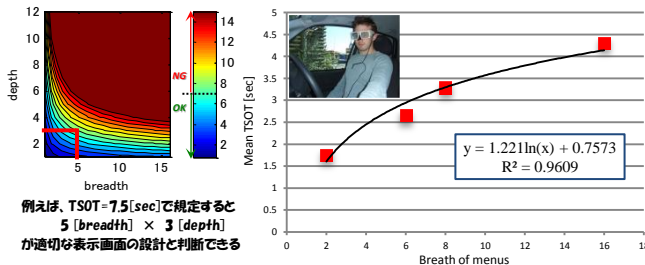
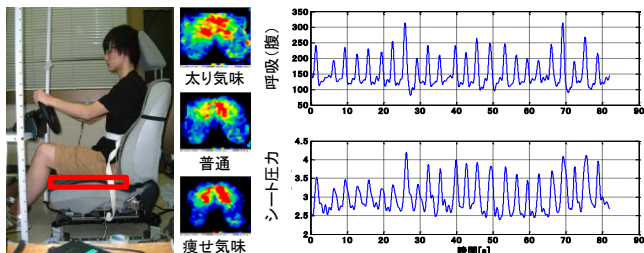


栗谷川研究室では、「機械は人間のために開発された」という原点に返り、機械を使用する人間の特性を考慮した機械を創造するための計測、解析、設計、製品・システム評価に関する研究を実施しています。 **Vehicle Systems Laboratory** <http://www.me.cit.nihon-u.ac.jp/lab/kuriyagawa/>

研究内容



車両シート座面の圧力変化から呼吸を検出!

表示操作系デバイスの画面ボタン数を最適化!

主な研究テーマ

- ・ドライバの生体情報非拘束計測センサの開発
- ・ドライバ状態の計測手法および推定手法の構築に関する研究
- ・ドライバ特性解析のためのドライバモデル構築に関する研究
- ・車室内の温熱快適性の評価に関する研究
- ・表示操作系HMIデバイス評価に関する研究
- ・ドライビングシミュレータの構築とその評価に関する研究 など

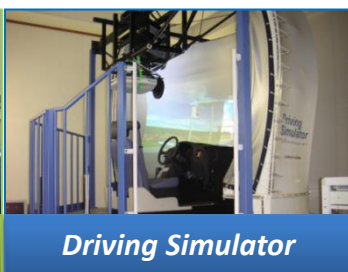


景山研究室と合同で実施した
実車実験での集合写真

※景山研究室、他大学、研究所および企業との共同研究、委託研究も実施しています。

研究設備・装置

人間の特性や状態を計測するための生体計測装置、新しいドライバサポートシステム等々を評価するためのドライビングシミュレータなど、人間・機械システムの評価に必要な様々な装置を備えています。



研究室の活動

研究活動はもちろんのこと、研究活動以外でも研究室メンバは連帯意識を持ちつつ、切磋琢磨して互いに高めあっています。

学会で表彰された学生



伊藤貴広 (H23年度)



小満和也 (H24年度)



Laboratory



Experiment



Graduation ceremony

